

トの飛散が抑えられるのと同時に、上下吹きの浴攪拌の強化により、ヒューム発生量の増加を小さくできることに起因すると考えられる。

5) 超ソフトブロー時の、炉内2次燃焼による反応熱の溶鋼への還元率は約60%である。なお、この溶鋼への熱還元効果は、輻射高温帯の位置に依存すると考えられる。

文 献

- 1) 上仲俊行, 高見満矩, 菅原孝幸, 小池幸造, 池田修, 堀 隆一: 鉄と鋼, 68 (1982), S 132
- 2) 上仲俊行, 高見満矩, 堀 隆一, 落合勇司: 鉄と鋼, 69 (1983), S 130
- 3) 喜多村実, 伊東修三, 松井秀雄, 木村雅保, 遠藤勝, 辻 昭教: 鉄と鋼, 69 (1983), S 134
- 4) 喜多村実, 伊東修三, 松井秀雄, 木村雅保: 鉄と鋼, 67 (1981), S 880
- 5) 喜多村実, 副島利行, 伊東修三, 松井秀雄, 平橋英行, 木村雅保: 鉄と鋼, 69 (1983), S 246
- 6) 喜多村実, 小山伸二, 伊東修三, 松井秀雄, 藤本英明: 鉄と鋼, 68 (1982), A 33

- 7) 海老沢勉, 豊田剛治, 田中 久, 石坂 祥, 河井良彦: 鉄と鋼, 68 (1982), S 1033
- 8) 南 昭喜, 殿村重彰, 中村康久, 国友干明, 山本里美: 鉄と鋼, 68 (1982), S 1035
- 9) 栗山伸二, 小倉英彦, 半明正之, 宮脇芳治, 碓井務, 山田健二: 鉄と鋼, 68 (1982), S 1036
- 10) 岡村祥三, 中島英雅, 丸川雄淨, 姉崎正治: 鉄と鋼, 68 (1982), S 192
- 11) 武 英雄, 藤山寿郎, 山本 武美, 永井 潤: 鉄と鋼, 68 (1982), S 1031
- 12) 南 昭喜, 殿村重彰, 中村康久, 桂 肇, 山本里美: 鉄と鋼, 68 (1982), S 1034
- 13) 喜多村実, 伊東修三, 木村雅保, 源間信行, 篠崎薰: 鉄と鋼, 68 (1982), S 191
- 14) 植田嗣治, 丸川雄淨, 姉崎正治: 鉄と鋼, 69 (1983), p. 24
- 15) 今井光雄, 大井 浩, 江見俊彦: 鉄と鋼, 48 (1962), p. 111
- 16) 不破 祐, 萬谷志郎, 福島 勤, 井口泰孝: 鉄と鋼, 53 (1967), p. 91
- 17) 永井 潤, 大森 尚, 山本武美, 橋 林三, 藤山寿郎, 岡野 忍, 小沢三千晴: 鉄と鋼, 67 (1981), S 881

処理溶銑の活用の関連文献

(鉄と鋼 昭和53年—昭和58年10月号まで)

無印は講演概要, (技)は技術報告を表す。

- 溶銑脱Siによるスラグミニマム精錬プロセスの操業
(スラグミニマムプロセスの開発—5) 佐藤, ほか 66 (1980) 4, S 9
- 溶銑予備処理法を利用した極低P鋼の溶製(生石灰による溶銑予備処理法の開発—4) 山田, ほか 66 (1980) 11, S 733
- 合成FLUXによる転炉高脱P技術の開発(スラグミニマムプロセスの開発—6) 伊藤, ほか 66 (1980) 11, S 761
- 上下吹転炉におけるスラグレス吹鍊操業 喜多村, ほか 67 (1981) 12, S 880
- 溶銑予備処理と処理銑の吹鍊(ライムレス吹鍊の開発—3) 永井, ほか 67 (1981) 12, S 881
- 溶銑予備処理と複合吹鍊の結合と発展(複合吹鍊技術の検討—5) 植田, ほか 68 (1982) 4, S 11
- 溶銑の予備処理ならびにその転炉操業 喜多村, ほか 68 (1982) 4, S 12
- スラグレス脱炭吹鍊試験結果(スラグレス脱炭に関する研究—3) 古垣, ほか 68 (1982) 4, S 15
- 溶銑脱りんによるステンレス鋼・高炭素鋼新溶製法の確

- 立(溶銑脱りんおよびその適用技術の開発—4) 小野, ほか 68 (1982) 4, S 296
- 溶銑予備処理プロセスの諸反応と複合吹鍊(溶銑予備処理プロセスの開発—2) 丸川, ほか 68 (1982) 11, S 1028
- 溶銑予備処理プロセスによる低リン鋼の量産(溶銑予備処理プロセスの開発—3) 丸川, ほか 69 (1983) 4, S 142
- 溶銑脱リンをともなうステンレス鋼転炉溶製法(ステンレス鋼新溶製法の開発—1) 田中, ほか 69 (1983) 4, S 143
- Na_2CO_3 により事前精錬した溶銑の上吹き転炉での脱炭試験(技) 山本, ほか 69 (1983) 6, p. 611
- 八幡製鉄所における溶銑予備処理の現状 田中, ほか 69 (1983) 12, S 958
- 溶銑処理による新製鋼プロセスの建設と操業(最適精錬プロセスの開発—1) 住田, ほか 69 (1983) 12, S 959
- 予備処理低[P]溶銑を用いた高炭素鋼の転炉溶製 副島, ほか 69 (1983) 12, S 1005